

102-212

問題文

釣藤散の構成生薬に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. チョウトウコウは、アルカロイドであるヒルスチンを含有する。
2. セッコウは、天然の含水硫酸カルシウムである。
3. ショウキョウは、辛味成分であるリモニンを含有する。
4. ボウフウは、フラボノイドであるアコニチンを含有する。
5. カンゾウは、ジテルペンサポニンであるグリチルリチン酸を含有する。

解答

問212 : 1, 3問213 : 1, 2

解説

問212

釣藤散なので、高血圧、頭痛などが考えられます。選択肢の中から選ぶとすれば1, 3です。

ちなみに、選択肢2ですが
インフルエンザといえば麻黄湯です。ただし、漢方薬はあくまでもその人の証に着目することで処方を決めます。そのため、同じインフルエンザでも麻黄湯を用いるべき場合と使うべきでない場合がある点に注意が必要です。

選択肢4,5ですが
アトピー性皮膚炎や便秘に対して、症状のみからこれだという代表的処方には特にありません。

以上より、正解は1,3と考えられます。

問213

選択肢1,2は、正しい選択肢です。

選択肢3ですが
ショウキョウは、漢字で書くと生姜です。ショウガ、ジンジャーとして知られています。有効成分は、ジンゲノール、ショウガオールなどです。

ちなみに、リモニンは柑橘類に含まれる「苦味成分」の一種です。辛味成分では、ありません。よって、選択肢3は誤りです。

選択肢4ですが
アコニチンは、アルカロイド系（窒素含有物ということ）の猛毒です。ちなみにフラボノイドとは、ベンゼン環2個を、3個の炭素でつないだジフェニルプロパン構造を有する化合物の総称です。よって、選択肢4は誤りです。

選択肢5ですが
カンゾウの有効成分は、サポニンの一種であるグリチルリチンなどです。サポニンとは、トリテルペン及びステロイド配糖体の総称です。従って「ジテルペン」ではありません。

以上より、正解は1,2です。